

ニットクニュース

NITTOKU NEWS

No. 74
2019新春号

【特集】

空へ。



1 ご挨拶

代表取締役社長 酒井万喜夫

2~21 特集 空へ。

- INTERVIEW 夢を乗せて。
- 一空への挑戦の軌跡をたどる。
- 10 音と翼の饗宴。
- ヒコーキ女子のヒコーキの愛で方 ●文とイラスト 蘭木流子 ●漫画家・イラストレータ

▲航空自衛隊岐阜基地「航空祭」

▲中部国際空港セントレア

▲中部国際空港セントレア

[FLIGHT PARK]

18 航空機を楽しむ。

22~25 ●得意先を訪ねて

- 22 【愛知·蒲郡市】 **小田建塗工業株式会社**
- 24 【岡山市】株式会社アビィング

26~28 • INFORMATION

- ■塗料事業本部
- ●ニットク・アメニティシステム連合会── 「平成30年総会を東京・第一ホテル東京シーフォートで開催」

29~33 OTOPICS

- ■白動車製品事業本部 29 「UGN・メキシコ新工場」が稼動開始
- ■白動車製品事業本部
- 29 「SNC (タイ) 新オフィス」を竣工
 - ■途料事業太部
- 30 「ニシイ2018未来創造展」に出展
- ■塗料事業本部
- 30 「湘南ひらつかテクノフェア2018」に出展
 - ■塗料事業本部
- 31 「関西ファベックス2018」に出展
 - ■塗料事業本部
- 31 「第1回高機能塗料展(コーティングジャパン)」に出展
- 32 「個人投資家向けIRセミナーを開催」
- ■業務本部
- 33 地域交流企画「夏休み自由研究教室」を開催

32~37 街を彩るニットクの製品



●企画·編集·発行 日本特殊塗料株式会社·広報委員会/坂口繁伸

●表紙イラスト|駒田寿郎

●制 作 協力 齋藤デザイン事務所

ご挨拶



●代表取締役社長 酒井万喜夫

明けましておめでとうございます。

ご健勝、ご清栄のうちに新しい年をお迎えの こととお慶び申し上げます。本年が皆様にとり まして素晴らしい1年でありますよう、心よりお 祈り申し上げます。また、旧年中は格別のご高 配、ご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。本年 もご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお 願い申し上げます。

東日本大震災から8年が過ぎようとしていま すが、残念ながら毎年のように悲惨な自然災害 の発生が続いています。昨年も、西日本豪雨災 害や北海道胆振東部地震で甚大な被害が発生し てしまい、お亡くなりになられた方々に謹んで 哀悼の意を表しますとともに、被災された方々 に心からお見舞いを申し上げます。今年も、ど こでどのような災害が発生するのかは予測でき ませんが、弊社は社員の安全を第一に考え、そ してお客様にご迷惑をおかけすることのないよ うに、安全で災害に強い会社への改善を進めて 参ります。

さて、今年の世界経済は、緩やかな景気回復 が続くと予測されていますが、トランプ政権に よる貿易摩擦問題は終わりが見えず、さらに中 東問題からの原油価格上昇リスクや新興国の金 融問題などもあり、多くの不安要因を抱えての 安心できない状況が続きます。また、今年の日

本経済も、個人消費や設備投資が堅調に推移し て、緩やかな回復が続くと予測されていますが、 リスクとして米国との貿易摩擦や為替問題、そ して原油価格上昇、さらに消費税増税などもあ って安心できる状況にはありません。

そのような状況のなか、今年、弊社は記念す べき創立90周年を迎えます。安心できない厳し い経済環境のなかではございますが、社是の創 意工夫のもと、皆様とうまく連携して、粘り強 く新たな市場や需要を開拓していきたいと考え ておりますので、今後ともご支援、ご協力のほ ど、よろしくお願い申し上げます。

弊社の基幹事業である自動車製品事業と塗料 事業のターゲットは、環境問題、そして関連す る新市場に向けた革新的な新製品の開発と提案 になります。社会情勢や経済動向、そして基幹 技術が劇的に変革していくなか、皆様の一言一 言を大切に、皆様に喜んでいただける新製品の タイムリーな上市とサービスに邁進して参ります。

本年もいろいろな問題、そして課題に直面す ると思いますが、弊社一丸となって皆様ととも にチームワークよくチャレンジさせていただき ますので、ご支援、ご協力を賜りますよう、よ ろしくお願い申し上げます。

皆様の、ますますのご繁栄とご健勝をお祈り 申し上げます。



ライト兄弟が1903年に有人動力飛行に成功して以来、わずか116年。 航空技術は飛躍的に発展し、空だけでなく、宇宙への飛翔も可能にした。 日本特殊塗料も、前身である日本特殊塗料研究所を100年前の1919年に創業。 日本の航空技術が黎明期にあった1929年に、航空機用塗料メーカーとして創立した。 そして本年、創立90周年を迎える。

今回は、より遠くへ、より速く、より安全な飛行を目ざしてきた航空機を特集する。

航空自衛隊岐阜基地で 開催された「航空祭」での ブルーインパルスの飛翔。

"嫌い"から"大好き"へ

飛行機は嫌いでした。揺れるのが怖いし、そもそもあの巨大で重いものが空を飛ぶことに信頼を置いていませんでした。福岡に帰省するときも新幹線を使ったり、帰るのを諦めたり。30歳になった頃、仕事で北海道に毎週末、多いときは羽田~札幌間を1日何往復もする必要があって、キツイなかでふと考えたんです。「飛行機ってなんで飛ぶんだろう」って。メカニズムの本を読むと、重力や推力、揚力、抗力のことなんかが書いてあって、「あぁ、なるほど」と。原理がわかったら、興味が湧いてきました。

それから飛行機をよく見るようになって、まず形がいろいろあることに気付き、性能についても調べるようになりました。その日に乗った飛行機のフィギュアを羽田空港の売店で買い始めたらどんどん揃えたくなって、すっかりのめり込みました。100機以上は揃えたんじゃないかな。

機体の構造を知って、揺れても大丈夫なことがわかってからは、怖さもなくなりましたね。着陸時に関しても、「ドスン!」と衝撃が大きいと、以前は「ヘタクソだな」と思っていましたが、実は雨で滑走路が濡れているときは、滑らかな着陸よりも安全なんだそうです。飛行機っていろいろ知ると面白いですよ。

特別塗装機を見たい

僕が一番好きな機種は「ボーイング727」です。古いので日本ではもう飛んでいませんが、垂直尾翼に1つ、両サイドに1つずつの3発エンジンが特徴。全

カンニング・たけやま®1971 (昭和46) 年福岡県生まれ。本名は竹山隆範。お笑い芸人で、コメンテーターや俳優としても活躍。航空機好きとして知られ、バラエティー番組などの航空機特集にたびたび出演。月刊「エアライン」にも連載を持っていた。現在、TBS「ビビット」、フジテレビ「直撃LIVE! グッディ!」「ノンストップ!」、NHK「ドスルコスル」、NHKBSプレミアム「偉人たちの健康診断」、ABC「探偵ナイトスクープ」、TBSラジオ「たまむすび」、AbemaTV「土曜The NIGHT」、GYAO「カンニングの恋愛中毒」などに出演。毎年開催している単独ライブ「放送禁止」ではLIVEならではの緊迫したネタを披露している。2019年春には福島に関する著書を出版予定。



体的なフォルムがとても好きです。

鉄道と一緒で、航空機ファンも写真を撮るのが好きな人や、乗るのが好きな人や、乗るのが好きな人などさまざまです。僕の場合はいろいろな機種を見るのが好き。好みのフォルムに出会うと「美しいなぁ。カッコイイなぁ」と見とれてしまいます。地方路線でボンバルディアやエンブラエルといった普段なかなか目にすることのない機種に乗れたりすると、また一気にテンションが上がります。

いま一番見たいのは、ANAが今年春からホノルル線に取り入れる総2階建ての「エアバスA380」。カメがデザインされた機体ですね。あれを早く間近で見てみたい。ずいぶん前にポケモンジェットを初めて見たときも驚いたし、その便に思いがけず乗れた時はとても得した気分になりました。特別塗装機ってワクワクしますよね。塗装前の機体も見たこともありますが、なんだか裸を見ているようで落ち着かなくて、早く服を着せてあげてよって思っちゃいました(笑)。

航空機の良さを知ってほしい

日本人にとって航空機は、車や電車 に比べるとまだまだ身近とはいえない のではないでしょうか。格安航空会社 のLCCを乗り継いで気軽に旅行をして いるヨーロッパに比べ、日本の航空利 用は10年遅れているそうです。理由は、



安全面で不安を感じている人が多いこと。そして、航空運賃が高い一方で、新幹線が発達している点でしょう。たぶんLCCがどれだけ根付いていくかで日本人の航空機への意識も変わると思います。LCCの安全性に不安を覚える方もいるかと思いますが、安全基準も使用機体も大手航空会社と何ら変わりません。そういう誤解が早くなくなるといいなと思います。

僕も使っていますが、世界中を飛ん

でいる民間航空機の位置がリアルタイム表示される「フライトレーダー24」というアプリ。これを見ると、いまこの瞬間に飛んでいるすべての民間航空機が一目でわかります。これだけの機体が安全に飛行しているというのは、乗り物としての安全性の高さの証明ではないでしょうか。機種や高度、速度、到着予定時間なども表示されるので、見ているだけでも楽しめますし、飛行機で帰ってくる家族のお迎えにも便利。航空機を身近に感じていただけると思うので、お勧めです。

人の夢に近い乗り物

長い休暇が取れたら、ボーイングが 誕生した街シアトルに行ってみたいで すね。飽きるまで航空機を眺めて、工 場を見学して、航空博物館にも行って、 がっつり買い物もして。もちろんアメ リカを航空機で飛びたいし、できれば



「ボーイング747」のコンプレッサーブレードのキーホルダーを自宅の鍵に付けて愛用中。JALが「747」を手放した際、150個限定で作ったもので、シリアルナンバーも付いている。



航空機ファンでなくても楽しめるアイテムとして、 スマホの無料アプリ「フライトレーダー24」を紹 介してくれた。全世界で飛行中の民間航空機の位 置をリアルタイムでフォローしている。

大好きなアメリカンフットボールチーム「グリーンベイ・パッカーズ」の試合も観戦したい。とにかく自分が好きなものだけを楽しむ旅。考えただけでウキウキしてきます。

そんなふうに航空機って、人の夢に 近いものという気がします。僕は機体 も好きですが、例えば好きな人に会い に行くためとか、ビジネスを成功させ るためとか、航空機は自分の夢を乗せ て一緒に飛んでくれる、すごくハッピ ーな乗り物。機種マニアとしては、そ の機体にもしも自分がデザインされた ら最高です。「俺、飛行機になっちゃっ たよ」って(笑)。企業の宣伝がらみで ラッピングバスや電車になったことは ありますが、さすがに飛行機は難しい でしょうね。でも、ボーイングの最新 機種 [787] に自分が描かれたら……。 無理かもしれませんが、いいんです。飛 行機は夢を乗せて飛ぶものだから。





軌跡をたどる。

「零戦」の試作初号機や自衛隊の大型輸送機「C-2」など、さまざまな航空機のテスト飛行が行なわれ、日本の航空技術の発展に重要な役割を果たしてきた岐阜県各務原。その歴史を実機や模型の展示でわかりやすく紹介しているのが、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館、愛称"空宙博"。
2018年3月のリニューアルで展示スペースは1.7倍になり、人工衛星や宇宙開発を紹介する宇宙関連エリアも増設。
国内最大規模の"航空と宇宙の専門博物館"を、副館長の長浦淳公氏に案内していただいた。

博物館外観。屋外には戦後初の 国産民間旅客機 [YS-11] をはじめ、日本が開発・実用化した初め ての水陸両用機や、陸上自衛隊 の輸送へリコプターなども展示 されている。博物館の建物は鮮 やかな青色。赤く塗られた外階 段から右側部分がリニューアル で増築された。



日本の航空史を俯瞰する

航空機の歴史は浅く、まだ116年です。 1903 (明治36) 年にライト兄弟が初の有 人飛行を成し遂げたのが最初ですね。 ここ各務原は、1911年の埼玉県所沢に 次いで、1917 (大正6) 年に日本で2番目 に飛行場ができた町。102年にわたり 航空機と共に歩んできました。

日本の航空史を調べると、各務原が極めて重要な役割を果たしてきたことがわかります。国産機のほとんどが、初飛行を行なっているのです。把握できるだけで76種も。当時、航空機開発に携わっていた技術者や研究者は必ずといっていいほどここに足を運び、"空都・各務原"と呼ばれることもあったようですね。ただ、第2次大戦中は機密事項でしたから、このことは1996(平成8)年に当館ができるまで地元の人さえ

よくは知りませんでした。

ですから開館にあたっては、地元にゆかりのある機体の収集にこだわりました。2018年春に「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」としてリニューアルし、展示エリアを拡張、内容もより充実させました。ここに来れば日本の航空史がほぼ俯瞰できると自負しています。23年前の開館当初は、戦争に使われた航空機を展示することへの批判もありました。でも、航空機の製造技術の発展は戦争なしには語れません。私たちは技術開発の歴史をしっかりと見せることが大切と考えています。そこから、それぞれの人が何かを感じ取っていただければ幸いです。

テスト飛行の地として

入口を入ってまずご覧いただけるのが、日本で初めて各務原で量産された「乙式一型偵察機」です。製造技術を持たなかった日本が、フランスのサルムソン社から製造権を取得して国産化に取り組みました。川崎造船所が神戸で製造し、各務原で最終組み立てをして、初飛行が行なわれたのが1922年。木製のため、用途廃止になった機体の一部やプロペラなどが、いまも近隣の神社の御神体や農家の納屋などで再利用されているのが見つかっています。いかにこの地が航空機産業と関りが深いか

を実感しますね。

ところで、なぜ各務原に飛行場が作られたのか。それは広い土地と気象にあります。一年中西風が吹く安定した気象条件が、試作機を飛ばして性能を調べるのに適していたからです。飛行場といっても、当時は草むらに機体を引きずって止めるような状態だったようですが。機体の輸送も、道路状態が悪いためトラックではなく、ばらしたものを牛に引かせてゆっくり飛行場まで運んだそうです。

美しい航空機たち

当館の目玉の一つは、修復された「飛蓋」。昨年のリニューアルを機に新たに展示しました。戦後、多くの軍用機がスクラップにされる中で、この「飛燕」は奇跡的に残り、流転の運命をたどってここに来ました。デパートの屋上や遊園地などに貸し出された後、鹿児島



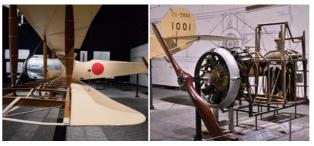
き受けてくださいました。機体や塗料の調査を1年かけて行ない、オリジナルではない部品を交換し、戦後に施された塗装を剥がして修復されたその機体には、70年前の痕跡がしっかりと見て取れます。不揃いなリベット(鋲)などは、作業にあたったのが熟練工ばかりではなかった証でしょう。ご来館の際はぜひ近くでご覧ください。
「十二試艦上戦闘機」、いわゆる「零

「十二試艦上戦闘機」、いわゆる「零戦」の試作機もリニューアルで新たに加えました。堀越二郎氏が設計した名機で、初期の設計を忠実に再現した実物大模型を展示しています。

ここまでが戦中の航空機です。敗戦 後の日本は航空機製造が禁止され、"空 白の7年間"に入り、技術的に世界に大 きく後れをとることになります。

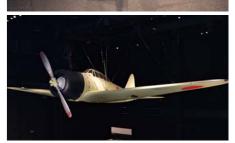
戦後の航空史エリアでは、実機20機 を年代順にご覧いただけます。各務原 で最初に設計、製造されたのが「KAL-1」。すべて金属で作られていて、1953





各務原で初めて量産された「乙式一型偵察機」の復元模型(上)。もともとはフランスの主力機で、川崎造船所がサルムソン社から製造権を取得して国産化に取り組んだ。左下は主翼の構造とドープを塗装した羽布。ニットクでもこのころ、日本特殊塗料研究所時代に酢酸系ドープを完成させた。右下は日本に唯一現存する前部胴体の骨組。





上は、美しく修復された「飛燕」。当時の他の戦闘機では機体前部から風を取り込む空冷式エンジンが採用されていたが、「飛燕」は液冷式。主任設計を務めたのは、のちに国産旅客機「YS-11」にも携わった土井武夫氏。下は「零戦」試作機こと「海軍十二試艦上戦闘機」で、日本で最も多く生産された航空機の試作1号機。「零戦」を設計した堀越二郎氏や「飛燕」の土井武夫氏に関する情報や資料も紹介されている。

の知覧特攻平和記念会館で長く展示さ

れていたのです。このたびのリニュー

アルにあわせ、初飛行を行なった故郷

の各務原に戻ってきたわけです。展示

にあたっては、製造初期の姿に戻すこ

とにこだわりました。その作業を「飛

燕| の生みの親である川崎重工業が引



(昭和28) 年に初飛行に成功し、現在残っているのはこの機体のみです。ほかにも初の純国産ジェット機「T-1」や、各種性能を調べる実験機や研究機、ヘリコプターなどがズラリと並びます。ひときわ大きな「飛鳥」は、当館設立のきっかけになった実験機。科学技術庁航空宇宙技術研究所(現JAXA)が国家プロジェクトとしてSTOL(短距離離着陸)実験を進めた機種で、約3年半、各務原で飛行実験が行なわれました。

当館に展示されている機体は実寸大 模型を含め43機。これほど多くの航空 機が並ぶ博物館は、国内ではほかにな



手前は揚力性能の向上を目的として、さまざまな改造試験を行なった高揚力研究機 [X1G (別名サーブ・サフィール91B改)]。奥は荒れた海にフワリと離着水できるよう製造された [UF-XS実験飛行艇]。



航空機はどうして飛ぶのかを、シミュレーターで楽しく体験学習することもできる。本物のヘリコプターに 乗り、目の前のラジコンヘリを動かす操縦体験もある。

いでしょう。また、航空機開発の歴史 にはエンジンが大きく関わっているの で、航空機エンジンの進化の過程もわ かりやすく展示しています。



小さな地方空港でも離着陸できる低騒音の航空機の技術開発を目的としたSTOL (短距離離着陸) 実験機「飛鳥」。 [C-1輸送機」をベースに設計して作ったもので、セスナなどの軽飛行機並みの滑走距離で離着陸が可能だった。

そして宇宙へ

各務原や岐阜県は、航空機に限らず 宇宙産業にも非常に縁があります。今



各務原は現在も日本のヘリコプター生産の中心地。 ヘリコプターはローター(プロペラ)ヘッドの技術開発によって進化するが、その過程を見ることができる。開発に使われた木製のモックアップ(模型)も展示。



[H-II] ロケットのフェアリング。ロケット先端に搭載される人工衛星等の積荷を、打ち上げ時の空気抵抗や300℃以上の熱から守るためのカバーで、大気圏に到達すると結合ボルトの同時破断により分離される。





「H-II」の地上燃焼試験で実際に使用された「LE-7エンジン」。25,000 馬力の純国産エンジンだ。



人工衛星コーナー。通信や気象など暮らしとのかかわりやメカニズムを解説。通信放送技術衛星「かけはし」(COMETS)の熱試験モデルなども展示。

回のリニューアルでは"宇宙エリア"も 充実させ、日本の宇宙開発が俯瞰でき るまでになりました。

H-Ⅱロケットのフェアリングの分離試験に使用されたフェアリングパネル(打ち上げ時に空気抵抗や光熱から積荷を守るカバー)も各務原で製造されました。H-Ⅱロケットのエンジン「LE7」は、地上燃焼試験で実際に使用されたもので、JAXAからお借りした貴重な実物です。

ロケットは"日本の宇宙開発の父"と呼ばれる糸川英夫教授が開発したペンシルロケットに始まり、開発中のH3ロケットまで、進化の過程をご覧いただ



宇宙探査コーナーの火星探査車「キュリオシティ」の 1/1模型(手前)。小惑星探査機「はやぶさ2」の1/1模型も展示。

けます。気象予報や位置情報など私たちの生活を支えている人工衛星のコーナーもあります。さらに、国際宇宙ステーション(ISS)の日本実験棟「きぼう」

の実物大模型も。JAXAにご協力いた だき内部までリアルに再現しました。 ぜひ中に入って宇宙飛行士気分を味わ ってください。

「H3ロケット」は順調であれば2020年に初打ち上げですし、「はやぶさ2」が地球に帰還するのも2020年の予定。2020年は宇宙のイベントが目白押しです

空や宇宙という非日常の世界には、 大きな魅力があると私は思います。航 空機を自ら操縦して空を飛ぶというの は、誰もが憧れることではないでしょ うか。実際、当館にある操縦シミュレ ータは、大人からお子様まで非常に人 気があります。何より、航空機のフォ ルムはとても美しいと思いませんか?

日本の航空機開発や宇宙への挑戦の 歴史を俯瞰するだけでなく、ぜひ間近 でじっくり見たり、体験したりして楽 しんでいただけたらうれしく思います。

岐阜かかみがはら航空宇宙博物館

岐阜県各務原市下切町5-1/☎058-386-8500/平日10:00~17:00、土日祝日10:00~18:00/毎月第1火曜休館(その他の休館日はホームページに掲載) http://www.sorahaku.net/



国際宇宙ステーション (ISS) の日本実験棟「きぼう」の実物大模型で、最新の有人宇宙開発を紹介。「きぼう」の中に入ることもできる。

ブルーインパルスの華麗なアクロバット飛行(展示飛行)。ブルーインパルスは航空自衛隊の専門チームで、正式名は宮城県松島基地第4航空団所属[第11飛行隊]。



大勢の人で溢れる「航空祭」

2018 (平成30) 年11月18日、航空自衛 隊岐阜基地で「航空祭」が開催された。 この日は朝から澄んだ青空が広がり、 まさに航空ショー日和。開始までまだ 1時間以上あるが、最寄りの名鉄三柿野 駅から会場へと向かう道は、すでに大 勢の人で溢れている。空の一大イベン トを見ようと集まったのは、若者や中 高年層、カップルや家族連れなどさま ざまだ。

広い基地内は「北会場」と「南会場」 に分かれていて、まずは格納庫が並ぶ 「北会場」へ。こちらは駐機されている 機体を間近で見ることができる。入る とすぐにゴーッという耳を聾する轟音。 離れた場所で飛び立ったのか、見上げ







「北会場」に展示されていた、愛称"ファントム"こと [F-4] 戦闘機。左は第302飛行隊のマーク・オジロワシが機体全面に描かれた特別塗装機。ファントム、そしてオジロワシによる最後の [航空祭] を記念して制作された。右は2017年の [各務原飛行場百周年] を記念して制作されたデジタル迷彩の特別塗装機。



「北会場」の格納庫での展示機体。左は先進技術実証機「X-2」。主にステルス性能の研究用に作られた機体。右は愛称"イーグル"こと「F-15」 戦闘機で、「まそたんカラー」の特別塗装機。「まそたん」 は樋口真嗣総監督のテレビアニメ 『ひそねとまそたん』のキャラクター。

ても航空機の姿はない。ショーに向けての練習だろう。それでも音の振動が体に響き、十分過ぎる迫力である。駐機エリアの最前列で望遠カメラを構える人や、記念グッズを買い求める人、格納庫の展示機体のコックピットに乗り込む人など、来場者はすでに思い思いに楽しんでいる。

オープニングの8時30分。壮麗な音楽にのって南東の方向から飛来した3機が、来場者の頭上を通過し、あっという間に北西へと消えて行った。会場

から大きな歓声が上がり、「航空祭」が 幕を開けた。

大迫力! ブルーインパルス

プログラムの最初は飛行開発実験団による戦闘機「T-4」「T-7」「F-2」「F-4」「F-15」での飛行、そして同じく「F-2」「F-4」「F-15」での機動飛行。旋回しながらの急上昇や背面飛行、機体の底まではっきりと見える低空飛行など、単体やフォーメーションを組んで、華麗



「北会場」の駐機場にずらりと並んだ「航空祭」を彩る機体(上)。左から [F-2] 戦闘機3機、まそたんカラーの [F-15] 戦闘機3機、ブルーインパルスの [T-4] 中等練習機7機、 [C-1] 輸送機1機。パイロットが乗り込むと観客から声援があり、パイロットも手を振って応えていた。下は [F-15] 戦闘機(左)と [C-1] 輸送機(右)。





NITTOKU NEWS No.74 2019.1 🕦



4機のブルーインパルスがダイヤモンドの形を作り離陸する「ダイ ヤモンド・テイクオフ」。



空中給油機「KC-767」による航過飛行。パイプを伸ばして戦闘機に 給油する模擬飛行が行なわれた。





「北会場」から見た「スタークロス」。5機のブルーインパルスが大空に特大の星を描いた。



[F-4] 戦闘機2機による機動飛行。 「南会 場」では飛行する姿を間近に見ることが でき、その音も体に響く。



赤と青のストライプカラーの [F-2] 戦 闘機。実験機体の状態を見やすくするた めのカラーリング。目の前で急旋回した。

な技が次々と繰り出された。

続いて今回の目玉の一つ、"空飛ぶガ ソリンスタンド"と呼ばれる「KC-767」 の空中給油デモ。「KC-767」はボーイン グ社製の旅客機を改造した空中給油・ 輸送機で、新幹線の3倍の速度で飛行し ながら、6mのパイプを使って戦闘機に 給油ができる。そんな離れ業を可能に しているのが、機体底部にある5台のカ メラと、パイロット2名、そしてオペレー ターの高度な技術力。カメラで位置を 確認しながら遠隔操作するデモ飛行が 行なわれた。戦闘機と比べると何倍も 大きい「KC-767 | だが、軽快かつダイナ ミックな8の字飛行も披露してくれた。

最も盛り上がったのが、ブルーイン パルスによるアクロバット飛行。まず、 6機が滑走準備で駐機エリアから移動 を始めると観客が手を振り、パイロット も手を振って応えてくれる。そんなサー ビスにますます期待が高まる。そして いよいよテイクオフ。青と白でカラーリ ングされた色鮮やかな「T-4」が、青空を 舞台に見事なパフォーマンスを見せた。

2機が並んで垂直上昇した後、それぞ れ外側に半円を描くようにスモークを 出しながら下降すると、空には大きな ハートマーク。そこに別の1機が来て矢 を突き刺す。「キューピッド」という演 目で、大きな拍手が湧いた。続いて、6 機が揃ってゆっくりと大きな円を描く 「フェニックスループ」。旋回する際、パ イロットは呼吸が困難になるほどG (重 力加速度)がかかるそうで、それでも一 糸乱れぬフォーメーションは圧巻。さ らに、5機が上昇しながらさまざまな方

向に1本ずつスモークで線を描き、完成 させたのは大きな星の形「スタークロス」。 会場から大きな拍手と、この日一番の 歓声が上がった。

太陽を浴びて誇らしげに機体を輝か せるブルーインパルス。ほかにもたく さんの技を繰り出し、40分にわたり楽 しませてくれた。

家族でも楽しめる航空ショー

午後はシャトルバスに乗って「南会

場しへ。こちらはピクニックシートを 広げられる芝生エリアで、家族連れも 多い。滑走路付近のデモンストレーシ ョンは見えづらいが、飛行中の機体が とても近く、音も「北会場」以上に大き く響き、なかなかの迫力である。

午後になって空をうろこ雲が覆い始 める中、アナウンスされた方向を見る と、遠くにいくつかの小さな黒い点。そ れがゆっくりと近づいてくる。[C-1] 「F-4」「F-15」など10機が編隊を組み、 翼を広げた航空機を形作っていた。そ



「南会場」で地上展示されていた [T-2] 練習機。高 速性能を重視した機体で、2代目ブルーインパルス でも活躍した。ほかに「T-33A」や「C-46」など、退 役した多数の機体が常設展示されている。

の形を全く乱すことなく、頭上を優雅 に横切っていく。実に壮観で美しく、ま るで自分が映画のワンシーンの中に飛 び込んだように錯覚してしまう。午後 2時半前。ショーのラストを飾ったのは 「F-2|戦闘機。白い空に赤色のシャープ な機体がくっきり映えていた。

岐阜基地の発表によると、この日の 来場者は14万5,000人。これまでニュー ス映像や写真などで馴染みがあった航 空ショーだが、現地で目のあたりにす ると、その迫力は想像を超えていた。地 上展示している機体に触れることもで き、飲食の屋台も充実していて、航空 機マニアでなくても一日中楽しめるイ ベントである。機会があれば足を運ん でみてはいかがだろう。

ブルーインパルスの色彩

ブルーインパルスの機体を彩っているのは、ニットクの航空機 用塗料「スカイハロー」。自衛隊の各種航空機にも採用されてお り、岐阜基地に隣接する川崎重工業の岐阜工場で塗装される。 川崎重工業では、ブルーインパルスに採用されている「T-4」中 等練習機のほか、最新の「C-2」輸送機などを生産している。



エントランスルームに展示されている「ブルーインパルス」。航 空祭に行く途中で見ることができる。

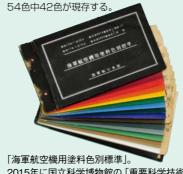




れている航空機用塗料「スカイハ ロートシリーズ。

海軍航空機の色彩

創業以来、ニットクの塗料は各種航空機を彩 ってきた。写真は、第2次大戦中に実際にニッ トクで使用していた塗料用色見本帳である。



2015年に国立科学博物館の「重要科学技術史 資料(未来技術遺産)」に登録された。



岐阜基地の名物、異機種による大編隊飛行。「C-1」や「F-15」など戦闘機10機が、三角形や翼を広げた飛行機 を形作り飛行した。

ヒコーキ女子のととコーキの愛で方

●文と1ラスト **蘭木流子**

(漫画家・イラストレータ)

らんき・りゅうこ 1984 (昭和59) 年、東京生まれ。旅客機愛好家の漫画家・イラストレータとして、雑誌『月刊エアライン』、雑誌『素敵なフラスタイル』(共にイカロス出版)、フリーペーパー『遊・悠・WesT』(ネクスコ西日本)にて、4コマ漫画・コラム・短編漫画を連載中。2017年に仙台空港祭のポスター、2018年に高松空港のノベルティグッズのイラストを担当。著書に『今日もヒコーキに会いに行く』(イースト・プレス)がある。



「ヒコーキが好きです」。

こう話すと「旅行がお好きなんですか?」と返されることがよくあります。 そのたびに「えーと、旅行が好きなわけではなく…いえ、嫌いではないんですけどね。ヒコーキが好きというのは それだけじゃなくて…」と狼狽し、相 手を困惑させてしまいます。

私の場合、"趣味" としてヒコーキを 愛していて、旅行好きとは少々趣が違 うのです。しかも、同じヒコーキ好き といえど、その"愛で方"もさまざま。 乗るのが好き。眺めるのが好き。写真を撮るのが好き。グッズを集めるのが好き。グッズを集めるのが好き。いずれも「ヒコーキ好き」であり、それぞれに趣味としての魅力が詰まっているので、ひと言で説明するのが難しいのです。

王令しいヒコーキがやって来る日やラストフライトの日は ヒコーキ 撮影スポットがヒコーキファンで具成れいます。 お別れに 三戻する ファンも 鮮やかな カラーリング 2017年に が女子に 一度だけ 致しい 機種 大人気力 日本に飛来した BREITLINGO DC-3 SNST ヒコーキ追Bホアプリ たま~に日本にやって来る 2017年10月30日 で飛来情報を KLMオランダ、航空の、オレンジプライド 日本路線から徐退した F=17! (Boeing777-306ER) デルタ航空の Boeing 747-400 **貨物コンテナは** 仙台空港で一度だけ行なもれたヒコーキ・イルミネーション プレゼントボックスに変身!! 実機を使った イルミネーションは またやってほしいな~ 世界的にも珍しいらしい

鉄道に比べマイナーなイメージがある、趣味としてのヒコーキ (ここでは 旅客機・貨物機の民用機を指す)ですが、実は近年、ファンの数が増加しています。中でも私のような女性のヒコーキファンは「ヒコーキ女子」や「空美 ちゃん」と呼ばれ、女性限定のヒコーキ撮影会が開催されるほど。そこで今回は、そんな女性ヒコーキファンに注目しながら、ヒコーキの楽しみ方をご紹介していけたらと思います。

人気のヒコーキはアイドル状態!? "撮り派"が集まる撮影スポット

ある日、成田空港の展望デッキでヒコーキにカメラを向けていると「今日は何かあるんですか?」と声をかけられました。周りを見渡すと、フェンスの前にはカメラを持った人がずらり。この日は、とある珍しい塗装のヒコー

キが初めて日本にやって来るという記念すべき日で、その姿をカメラに収めようと、ヒコーキファンたちが展望デッキに詰め寄せていたのです。もちろん、私の目当てもその「珍しい飛行機」でした。ふらっと展望デッキを訪れた人はその混雑ぶりに「すわ、アイドルでもいるのか!?」と、さぞ驚いたことでしょう。

そもそも、"撮り派"の人たちが空港に出向くのは、珍しいヒコーキが見られる日に限ったことではありません。そして、撮影場所も展望デッキにとどまりません。空港周辺の公園やホテル、さらには土手や船の上まで、さまざまな撮影スポットで愛するヒコーキが現れるのを、カメラを抱えてじっと待ち構えるのです。ヒコーキは、風向きによって使用する滑走路が変わったり、時間通りに来なかったりと、撮影が難

しい被写体です。しかし、どこで待ち 伏せしたとてストーカー扱いされるこ とはなく、勝手に撮っても盗撮で捕ま ることはありません。もちろん、一方 的な愛の言葉を投げかけてもセクハラ で訴えられることはないので、安心し て撮影に没頭することができます。

そんなヒコーキ撮影のために、私は最近中部国際空港(セントレア)を訪れました。展望デッキは「ここまで広くしなくても……」と若干引くぐらい広大なので、さまざまな角度から撮影を楽しめます。そして、2018年10月に空港敷地内にオープンしたばかりの施設「FLIGHT OF DREAMS」では、展示されているボーイング787を、上から下から、後ろから前から、余すところなく撮りまくることができました。同施設は「ボーイング787の試験飛行初号機を展示する」という少々マニア向け





の観があるつくりながら、館内にはおしゃれなソファー席が設けられた「スターバックス」があったり、SNS映えするカラフルなプロジェクションマッピングが行なわれたりするので、ゆるく楽しみたいヒコーキ女子にも人気のスポットになる予感です。

マイラーだけが"乗り派" じゃない 「フライトログブック」の楽しみ方

撮影に夢中になるヒコーキファンがいる一方で、ヒコーキに乗ることを楽しむ"乗り派"も存在します。ヒコーキの機内には魅力がたくさん。窓からの景色、機内食、機内誌、座席シート……そして、意外と知られていないのが「フライトログブック」です。本来、航空機のパイロットが付けるフライトの記録帳のことですが、"乗り派"の中には、

自分が乗ったフライトの情報をノートに細かく記録し、それをログブックに残す人たちがいるのです。記録する情報は、日付、便名、登録記号(航空機に付けられているアルファベットや数字を組み合わせた記号)、発着空港に使用した滑走路など。CAさんに頼めばメッセージを書いてもらえることもあり、旅の思い出になります。

さらに、旅慣れている人にとっては "エアライン比較"も楽しみの一つ。乗 務員の制服や機内食はもちろん、エア ラインごとのサービスも重要です。例 えばJALでは、機内で"青竹踏み"のレンタルを行なっており、機内でのむく み対策や、エコノミー症候群の予防に一役買っています。一方ANAでは、国際線の機内販売で2品以上購入すると、オリジナルステッカーがもらえるとい

う、ヒコーキファンには嬉しいサービスがあり、思わず散財してしまいそうです。こうした細かなサービスに注目すると、それぞれのカラーも見えてくるのではないでしょうか。

退役した機体もグッズに転生! "ヒコーキグッズ"最新事情

撮ったり乗ったりしてヒコーキ愛を深めたら、今度はグッズを集めるのも一興です。空港のショップではヒコーキモチーフの日用品や文具、エアライングッズを見かけることがあり、集め始めるとキリがありません。中でも関西国際空港の展望ホール「スカイビュー」4Fにある「Sky Shop Town」は、フロアがほぼまるまるショップになっていて、世界各国のエアライングッズが並んでいます。さらに、最近は自作のヒコー

キアクセサリーをネットで販売するヒ コーキ女子もいて、グッズの世界はま だまだ広がりを見せそうです。

一方、もっとディープな品や一点物を求めるコアなヒコーキファンに人気なのが、成田空港からほど近い「航空科学博物館」で年に2度開催される「航空ジャンク市」です。アウトレットの航空機模型や、解体されたヒコーキのピトー管やタービンブレード、計器類などがフリーマーケットのような形で販売されています。ここに通うほどのマニアともなると、もはや「ケーキ買ってきて」と頼めばコックピットの"計器"を買ってきてしまうツワモノに違いありません。

また、ヒコーキアクセサリーを身に つけるライトなファンから、ジャンク 市で航空機のパーツを吟味するディー プなマニアまで、幅広い層のヒコーキファンの間で話題のグッズもあります。それは、本物のヒコーキの外壁をくり抜いて作られた「プレーンタグ」です。これは、一見ヒコーキの絵柄と機種名などがデザインされた鉄製のタグなのですが、実際に空を飛んでいたヒコーキが材料となっているため、よく見るとキズの入り方が1枚1枚違い、一つとして同じものはありません。これはヒコーキファンには垂涎の逸品。愛するヒコーキの一部を、肌身離さず持ち歩けるのですから――。

今回、拙い文章ながら、私は「趣味 としてのヒコーキの魅力」が少しでも 世に広まり、ヒコーキファンが増える ことを切に願って筆をとりました。「待 ち伏せして撮る」とか「細かくノートに 記録する」とか「一部を持ち歩く」とか、少々"変態性"を疑われたかもしれませんが、つい熱くなってしまうのは、私がヒコーキの世界にハマった約15年前には見られなかった景色がいま、目の前にあるからなのです。かつてはトイレもなかった撮影スポットの公園は美しく整備され、新たな施設も続々と誕生。ヒコーキグッズの種類も格段に増えており、ヒコーキファンの楽しみは年々増幅しています。これらはヒコーキファンを牽引する航空写真家の先生方の力であり、何よりファンの数が増えたからだと思っています。

きっとこれからどんどん広がるヒコ ーキ趣味の世界へ向けて、皆さんも離 陸してみてはいかがでしょうか?





「ボーイング787」が目の前に

2018 (平成30) 年10月12日、中部国際 空港セントレアに複合商業施設 「FLI GHT OF DREAMS (フライト・オブ・ ドリームズ) 」がオープンした。展示エリ ア 「FLIGHT PARK (フライトパーク) |



セントレアから飛び立つ「ドリームリフター」を展望デッキから眺めた。長さ約300mの総ウッド張りの広々とした展望デッキは、離着陸する航空機を間近で見ることができる。

と商業エリア「SEATTLE TERRACE (シアトルテラス)」の2つからなる施設で、吹き抜けの地上4階建て、延べ床面積は約11,000㎡。その中心に巨大な「ボーイング787」の初号機「ZA001」の実機が展示され、青と白の機体をひときわ輝かせている。

「シアトルテラス」のレストランやカフェからも機体を間近に眺めることができるが、有料エリア「フライトパーク」ではコックピットが見学でき、さらに航空の世界が楽しめるさまざまな体験型コンテンツも用意されている。「787ドリームライナー」の初号機は、空を飛ぶ役目を終えたいまも、地上で私たちに夢を与え続けてくれているのである。

ところで、この初号機がなぜ日本の セントレアに実機展示されることにな ったのか。それは、「ボーイング787 の機体の35%が、中部地方にある三菱 重工業、川崎重工業、スバルなどの日 本企業によって開発、製造されている ため。加えて、ボーイングが国外では 唯一、セントレアに「ドリームリフター・ オペレーションズ・センター」を設置 しているからでもある。日本で製造さ れた翼や胴体を、船舶ではなく専用輸 送機 「ドリームリフター」 に載せて米国 まで運び、最終組み立てを行なってい るのだ。そこで、ゆかりの深いこのセ ントレアに、ボーイングから初号機 「ZA001」が寄贈されたというわけだ。

9つの体験型コンテンツ

さっそく「フライトパーク」へ。それに しても、間近で見る旅客機の大きさに 改めて驚かされる。しかも2m近い台の 上に固定されているので、普段は絶対 に目にできない機体の裏側や、ランディングギア(着陸時のタイヤ)の格納部分まで観察できる。それだけでも感激だが、この施設最大のセールスポイントは9つの体験型コンテンツ。デジタルテクノロジーを駆使し、航空機の世界を

は9つの体験型コンテンツ。デジタルテクノロジーを駆使し、航空機の世界を

機体と館内が一体化されるダイナミックな映像と音のショー「フライ ウィズ 787 ドリームライナー」。4階の観覧エリアからは全貌を眼下にでき、機体と一緒に異空間を飛んでいるような不思議な感覚に陥る。

楽しみながら学べるというものだ。

まず最初は、ダイナミックな映像と音のショー。機体や館内の壁面や床にさまざまな映像が10分ほど映し出される。4階の観覧エリアからはその全体が眺望でき、自分が一緒に異空間を飛んでいるような錯覚に陥る。

「ボーイングファクトリー」は、世界最大規模の航空機の組み立て工場を体感できるというもの。輸送機「ドリームリフター」で世界各国から運ばれてきた部品がどのように組み立てられていくか。通路を歩きながら、床や壁に映し出される映像で学ぶことができる。

このほか、自分が描いた飛行機の絵 をスキャンすると、専用タブレットを 使ってドーム空間の空でその飛行機を



自由に操縦できる「お絵かきヒコーキ」 や、紙飛行機を光のゲート空間に飛ば すと、空間がさまざまな色に変化して 音が響く「奏でる!紙ヒコーキ場」とい う、家族でも楽しめるコーナーもある。

キャビンアテンダントなどの制服を着て、航空会社の仕事を映像の中で疑似体験できる「エアラインスタジオ」など、子どもも遊び感覚で空の世界と触れ合うことができる。





左は航空機の製造工程が学べる「ボーイングファクトリー」。右は「エアラインスタジオ」でキャビンアテンダントの仕事を疑例体験内





左は紙飛行機を折って飛ばすと、その飛行ルートによって空間内の光の色や音が変わる「奏でる!紙ヒコーキ場」。右は専用タブレットで自分が描いた飛行機を操縦できる「お絵かきヒコーキ」。

初飛行時そのままのコックピット

「この飛行機はすばらしい役割を果たし、今ここに帰ってきました」。展示されている初号機のコックピット脇の壁パネルには、チーフテストパイロットを務めたマイク・キャリカー氏の言葉が、雲上の風景写真と共に掲げられている。マイク氏は2009年12月に同機の初飛行を行ない、2015年6月にここセントレアへの"里帰り"飛行も行なった人物。コックピットはガラス越しに見学ができ、初号機への思いを語る同氏のインタビュー映像も流れているので、ご覧になってはいかがだろう。

また、機体の周りを歩きながら、スマートフォンのアプリを使って「787」のパーツを集め、その解説を入手していく「歩いて集める飛行機図鑑」もある。パーツは全部で63。離着陸の方法やエンジンの仕組み、操縦方法、デザインの秘密などがわかり、「787」図鑑を完成させていく。集めるのも面白いが、図鑑は家に帰ってからも見られるのでお勧めだ。ほかにも、コックピットをほ









スマホのアプリを使って「ボーイング787」のさまざまなパーツを集める「歩いて集める飛行機図鑑」。全部で63パーツあり、それぞれに解説があるので、入手するごとに「787」に詳しくなれる。巨大な車輪や、騒音低減のために後部がギザギザになっている「シェブロンノズル」と呼ばれる独特のナセル(エンジンを覆う模型カバー・上左)、ロールスロイス社製のエンジンの細部(上右)、機体の底部(下左)など、スケール感を味わいながらじっくり観察ができるのが楽しい。

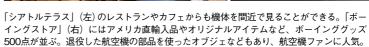


「ボーイング787」のコックピットを忠実に再現した「787 シミュレーター」。インストラクターの指導を受けな がら操縦にチャレンジできる。別料金、予約制。

ば忠実に再現し、実際のフライト感覚 を体験できるシミュレーターや、シア トル航空博物館の教育プログラムを体 験できるワークショップなどもある。

一方、2、3階フロアにある「シアトルテラス」。こちらはボーイング創業の街シアトルをテーマにした商業エリアで、本場さながらに食事やショッピングを楽しむことができる。さらに、1階には「ボーイングストア」もあり、アメリカ直輸入品や、ここでしか手に入らないオリジナルグッズが販売されている。なかでも目を引くのが、翼や窓など退役した航空機の部品を用いたオブジェ。購入すると証明書も付くそうで、航空フ





ァンにとっては垂涎のアイテムだろう。 「フライトパーク」を出る際、スタン プを押してもらえば出入りが自由なの で、「シアトルテラス」と行ったり来た りしながら一日中楽しむことができる。

航空機の未来を創造する

第2次大戦後、航空技術において、日本は長く諸外国に後れをとってきた。しかし近年、民間による航空宇宙産業は、技術革新の著しい分野として期待が高まっている。ボーイングの最新機である「787」も、その3分の1を日本の技術が占め、多国籍チームの先進テク

ノロジーによって実現した航空機である。そんな「787」の初号機を、やはり最新技術によってエンターテインメント性豊かに展示する「フライトパーク」。 大人はもちろん未来を担う子どもも、さまざまな体験型コンテンツを通して、航空機やテクノロジーの世界を楽しんでいた。乗り物という枠を超え、技術の集積による航空機の、ワクワクする未来を感じた。

●中部国際空港セントレア FLIGHT OF DREAMS 愛知県常滑市セントレア1丁目1番地

FLIGHT PARK(フライトパーク) /10:00~17:00、 土のみ10:00~19:00 (最終入場30分前) SEATTLE TERRACE(シアトルテラス) /10:00~ 22:00 (店舗により異なる)

※詳細はホームページに掲載 https://flightofdreams.jp/

NITTOKU NEWS No.74 2019.1 21

小田建塗工業株式会社

塗り床という分野が生まれた当初から、 この業界にかかわって約60年。 いま活躍している若い職人は 私の"孫弟子"にあたります。 彼らの姿を目にすると、とてもうれしいですね。 代表取締役会長 小田倉平



若者がなかなか定着してくれません。

取締役専務 小田芳久



事務所内部。「社長はじ め、社員はみんな現場に 出て行って、事務所にい ることはほとんどありま せん」(専務)。「事務所 にいるのは事務担当と私 だけです(笑)。若い世 代はよく頑張っていると 思います」(会長)。

愛知県南東部にあり、本州のほぼ中 心に位置する蒲郡市。渥美半島と知多 半島に囲われた海辺の街で、温暖な気 候を生かした果物栽培で知られ、とく にハウスみかんについては日本有数の 出荷量を誇っています。4つの温泉郷 もあり、リゾート地としても親しまれ ています。

その蒲郡市に本社のある小田建塗工 業株式会社をお訪ねし、代表取締役会 長の小田倉平さんと取締役専務の小田 芳久さんにお話をうかがいました。

■この業界に入ったきっかけをお聞か せください。

●会長: 1961 (昭和36)年、18歳の ときに、日当500円だからと町内の知 人に誘われて、蒲郡市内の施工店の下 請け職人として仕事をしたのが最初で す。当時勤めていた会社は480円。20 円の差でこの業界に入って57歳まで ずっと現場に出ていました(笑)。いま 75歳ですから、60年近くこの業界に かかわっていることになりますね。

■塗り床施工に興味をもたれたのでし ょうか?

●会長: そのときは塗り床という分野 はまだなく、左官のように思われてい ました。酢酸ビニル系の合成樹脂をコ テで床に塗るのですが、きれいに仕上 げることにおもしろみを感じました。

■塗り床職人の先駆けのような存在だ ったのでしょうか?

●会長: 愛知にいろいろな塗り床施工 店ができましたが、ほとんど当社から 出た職人がかかわっています。いまは もう "孫弟子" の世代ですね。 同じ業種 で活躍している彼らの姿を見ている と、やはりうれしく思います。

創業時から新設ではなく、 改修工事を専門に

■創業当初から塗り床専門だったので しょうか?

●会長:1967年、24歳のとき独立し て、3~4人の小さな規模で「小田組」 としてスタートしました。当初から床 専門のメンテナンス店、改修工事店で した。仕事は少なかったですね。忙し

くなったのは1975年前後です。学校 建設が盛んになり、塗り床が愛知県に 採用されてからです。現専務の長男に も高校時代から手伝ってもらいました。 ●専務:父が正月三が日だけ休んで、あ とはずっと現場に出ていたことは覚え ています。私は大学を卒業して塗料販 売店に勤めたあと、27年前、24歳の ときに入社しました。

■法人化されたのはいつでしょうか?

●会長: 1985年です。小田建塗工業 の「建塗」は建築塗装という意味です。 それまでは小人数でできる範囲で仕事 を続けていましたが、60歳のときに 社長の代を譲り、徐々に仕事と職人を 増やしていこうという方向になりまし た。いま社員は10人で、下請けの職人 さんが常時15~16人います。営業範 囲も、最初は愛知の名古屋が中心でし たが、静岡、三重に広がりました。

■経営方針をお聞かせください。

●会長:お客様を大事にすることと、仕 事をきっちり納めるということを第一 と考えています。お客様の要望する納 期ときれいな仕上げを実現するという ことです。おかげさまで、以前は売上 4億は無理だと言っていたのが、いつ の間にか増えて超えていました。

少人数で大面積を

●専務: 材料の値段は変わりませんか ら、仕事の量が増え、1人で塗る面積 が大きくなったということですね。先 日、2人で2日間で200缶塗ってきま した(笑)。少ない人数で短い工期で納 めるという努力は欠かせません。

■そのために工夫されていることをお 聞かせください。

●専務: 道具を変えています。仕上げ 以外はレーキで引いたり、金具に枝を つけてコテを大きくしたりしていま す。塗り方は難しくなりますが、道具 で工夫をしていかないと納期に間に合 いません。

■塗料へのニーズは変わってきたとお 感じでしょうか?

●会長:以前から低臭への要望はあり ました。とくに食品関係の現場では、従 業員の方と職人への配慮から、水系、環 境対応の材料が主流になりましたね。

●専務:一方で、きれいになればいい というお客様も多いです。1度塗って 十数年持たせるよりも、その間3回新 しい床にするという考え方ですね。高 くても丈夫な材料ということであれば 水硬性塗料になります。ニットクさん の「ユータックコンプリート」で、ここ 2~3年で伸びています。耐久性があ り持ちがいいので改修のスパンが長 く、工事の回数は減るのですが(笑)。

■ニットクとのお付き合いはいつごろ からでしょうか?

●会長: ニットクさんとは30年ほど お付き合いをさせていただいています。 ウレタン塗り床材が出てからずっとニ ットクさんオンリーです。相談にもの っていただき、当時はなかった下地材 も、私が考えてニットクさんに開発し

ていただきました。二人三脚ですね。 ●専務: ニットク・アメニティシステ ム会に入会して6年目になりますが、

会員のお客様から仕事を請けることも 多くあります。横のつながりができて 助かっています。

■これからの会社のビジョンをお聞か せください。

●専務:世代交代ですね。いま年輩の 職人さんが抜ける前に20代の職人を 伸ばし、塗り床業界をこれから支えて 行く若者を増やしていきたいですね。

■趣味をお聞かせください。

●会長: ゴルフをしていましたが、い まは釣りだけです。マグロを釣りに沖 縄の久米島に年に2回、20年ほど通っ ています。近場ですと伊勢湾に行って タイやヒラメなどを釣ってきます。

●専務: 私は一時ほどは熱を入れてい ませんが、ゴルフですね。平均して月 に1~2回行っています。スコアは下 がる一方で、100を切れば喜んでいま す(笑)。近くにゴルフ場があり、途中 信号がないので、車で10分かかりま せん。人のつながりができますから最 近は若い者を連れていっています。

■本日はどうもありがとうございました。



本社社屋。「周囲にはミカン畑が広がっています。小田家として私で11代目ですが、前の代までは 農家で、いま社屋のある場所も田んぼでした」(会長)。

ROFILE ■小田建塗工業株式会社

(東海ニットク・アメニティシステム会会員)

●創業/1967(昭和42)年

●資本金/1.000万円

●代表者/代表取締役 小田倉平 ●所在地/〒443-0003

愛知県蒲郡市五井町山郷27

電話(0533)67-1747 FAX (0533) 67-7829

●営業品目/ショットブラスト、サンドブラ スト、防水工事、耐酸系塗り床、エポキシ 系塗り床、一般プラスチック塗り床

国指定天然記念物で、

蒲郡のシンボルでもあ る「竹島」(上)。島には、 安産や縁結びの神を祀 った、日本七弁財天の 1つ「八百富神社」(右) があり、陸地と結ばれ る387mの橋は縁結び の橋と呼ばれている。





したマリンリゾート「ラ グーナテンボス」(左)。 テーマパーク「ラグナ シア」(上) などもあり、 観光、ヨットなどのマ リンスポーツを楽しむ 人で賑わう。

NITTOKU NEWS No.74 2019.1 23

株式会社アビィング



一人ひとりが自ら考えて行動する "プレイングマネージャー"を多く育て、 塗料での街の美化を通して 社会貢献していきたいですね。

代表取締役 中田 勉





1597 (慶長2) 年に豊臣家五大老の一人・宇喜多秀家が築いた「岡山城」天守閣。戦災で焼失したが再建され、黒漆塗仕上げの美しい姿を目にできる。

桃太郎伝説のモデルといわれる大 吉備津彦命が主祭神の「吉備津神 社」。足利義満造営とされる吉備津 造の本殿が、拝殿とともに国宝に 指定されている。



岡山市に隣接する倉敷市の美観地区。川舟が行き交う倉敷川、 白壁土蔵のなまこ壁が続く風情ある路地、大原美術館などがあり、岡川県屈指の観光地となっている。

桃太郎伝説や吉備団子で全国的に知られる岡山市。古代は吉備国の一角として、江戸時代以来は岡山藩池田氏の城下町として栄えました。中心部には岡山城や日本三名園の一つである後楽園を擁し、現在は、自然と文化が調和した都市空間を形成しています。

* *

その岡山市に本社のある株式会社ア ビィングをお訪ねし、代表取締役の中 田勉さんにお話をうかがいました。

■創業はいつでしょうか?

●1921 (大正10) 年、岡山で創業しました。創業者の名をとって「株式会社阿部塗料店」として会社を設立したのが1939 (昭和14) 年5月です。ちょうど80周年になりますね。現在の社名になったのは1992 (平成4) 年で、「阿部 (ABE)」と、存在や生命、人生、本質の意味がある「BEING」を合成したものです。「A」には第一、エースという意味もあります。

■ご入社はいつでしょうか?

●学校を卒業して1977年に入社しました。以来40年以上、ずっと広島営業所で勤めていました。6代目社長に任命されたのが2018月4月で、64歳

のときです。社長就任とともに初めて 岡山県人になりました(笑)。

中国4県で異なるニーズに対応

■主な業務内容をお聞かせください。

●会社全体の売上の比率でいいますと、 防水材を含めた建築汎用塗料が約3~ 4割、工業用塗料が約2~3割、塗料調 色が約2~3割です。ただし、地区によってその比率は変わります。現在、中 国4県に営業所がありますが、広島は 建築用塗料が6割、3割弱が工業用塗 料です。鳥取と島根は7割が建築用で 2割弱が工業用。一方、岡山県は工業 用が6割近くを占めています。

■広島から岡山へ移り、変化したことがあればお聞かせください。

●私は建築関係を担当していましたので、工業用塗料に接する機会がありませんでした。いまは社員と一緒に岡山地区のお客様をまわって勉強している最中です。岡山県でお付き合いのあるお客様は300社近くありますが、市と県の大きな全域地図を用意して、所在地をまず頭に入れています。

■経営方針をお聞かせください。

「偕楽園」「兼六園」とともに日本三名園の

つに数えられる「後楽園」。江戸初期に岡

山藩主·池田綱政によって造営され、国の

特別名勝にも指定されている。四季折々の

虱情を楽しめ、岡山城を望むこともできる。



社長室の市と県の全域地図を前にお話しする中田社長。「工業用塗料のお客様は赤、建築用塗料のお客様は青、当社の営業所は黄色と、色分けしてピンを刺して地理を勉強しています」。

●塗料は色彩にかかわる商品です。色彩を通じた街の美化、美しい環境づくりで社会貢献するということを基本理念にしています。

■これからの塗料や業界に求められる のはどのようなことだとお考えでしょ うか?

●弱溶剤、水性など、環境に配慮した 塗料が主流になりました。また、付加 価値のある機能性製品が増えています。

高品質の塗料が開発されている一方、建築関係で面積の大きい箇所は、内装はクロス、外装は貼りタイルが使われ、塗料は主に施工しにくい狭い場所に塗られています。塗料の分野の拡大は、業界全体で取り組んでいかなければならないと感じています。

■これからの販売店の課題をお聞かせ ください。

●販売店には、メーカーさんと施工店を仲介する知識と提案営業が求められます。そのためには一人ひとりが勉強しなければなりません。自分で考えて行動する"プレイングマネージャー"を多く育てることが課題です。当社も社内で勉強会を開き、メーカーさんの説明会があれば積極的に参加しています。

■社員教育に力を入れるということで しょうか?

●会社がいくら大きくても、出会うのは1対1です。人と人との付き合いで築いた信頼関係が、商売での強いつながりをつくります。人間的に魅力のある"人間力"も養っていきたいですね。

人材育成のためにも 働きがいのある会社に

■基本は "マンパワー" ということで しょうか?

●さまざまな分野で人手不足といわれますが、当社も同様です。終身雇用が崩れ、働く人の意識も変わってきています。人材の確保と育成のためには、時代に合った体制づくり、働きがいのある環境づくりが必要だと感じています。

■これからの会社のビジョンをお聞か せください。

●中国4県に、本社、営業所7カ所、工

のネットワークを生かして、地元の業者さんと長くお付き合いをしてきました。これからもそのつながりを大切にしていきたいですね。

場2カ所と、10の拠点があります。こ

■ニットクとのお付き合いはいつごろ からでしょうか?

●1971年ごろ、別の販売店を経由して屋根瓦用の銀黒の製品を扱ったのが最初らしいですね。当時は岡山にニットクさんの営業所があり、徐々にライン塗装が増えて、1977年ごろから直接の取引が始まったと思います。ちょうど私が入社したころですね。

現在は、島根と広島は主に防水材で、 岡山は工場関連が多いこともあり、塗 り床材でお世話になっています。

■趣味をお聞かせください。

●下手ですがゴルフです。始めてから 15年になります。スコアではストレ スがたまりますが、自然の中を歩くこ



(上)。 本社玄関脇に飾られている、1992年の本社社屋新築を記念して制作された備前焼のモニュメント(左)。備前焼独特の窯変による模様が美しい。



1年で1冊、すでに8冊になったという中田社 長の日記。「記録することで運動と食べ物を 意識するようになりましたし、アリバイにも なります (笑)。絵も自分で描き、シールもパ ソコンでつくって切って貼っています」。

とで発散させています。いまは歩数稼ぎに行くようなものです(笑)。

■常に万歩計を携帯されているのでしょうか?

●60歳をすぎ、健康のために1日1万歩歩こうと決め、続けています。2年前から歩数や消費カロリーを記録して表にしています。その結果、体重が10kg以上落ちました。それから、ここ8年、その日の行動や食事などを毎日欠かさず日記にしています。知人に見せて話のネタにもしています(笑)。

■本日はどうもありがとうございました。

P R O F I L E

■株式会社 アビィング

(中国ニットク・アメニティシステム会会員)

●創業/1921(大正10)年

●資本金/2,700万円

●代表者/代表取締役 中田 勉●所在地/〒700-0972

| 所任地/ 〒 700-0972 | 岡山県岡山市北区上中野1丁目16-2

両山県両山市北区上中野1 1 日 1 6 電話(086)244-1221(代)

FAX (086) 244-1225

HP: http://www.abeing.co.jp/
■事業所/岡川営業所、倉敷営業所、総社営

業所、鳥取営業所、松江営業所、広島営業所、呉営業所、岡山カラーセンター、広島カラーセンター

事業内容/塗料・防水剤・金属表面処理剤・ 塗装機器・研磨剤・その他付属品の卸販売従業員数/73名



◀本社社屋。

■塗料事業本部

■ニットク・アメニティシステム連合会

「平成30年総会を東京・第一ホテル東京シーフォートで開催」

「ニットク・アメニティシステム連合 会 | (会員数463社) の平成30年総会が昨 年の11月16日、東京・第一ホテル東京シ ーフォートで開催されました。

総会は宮本副会長の「開会の辞」では じまり、その後、出席者全員で「ニット



▲宮本副会長による開会の辞



▲会員憲章の唱和

ク・アメニティシステム連合会会員憲章| の唱和が行なわれました。続いて穂坂会 長の挨拶では、「本日は平成30年ニット ク・アメニティシステム連合会総会に全 国からたくさんの皆様にお越しいただき まして、誠にありがとうございます。ま た、平素より、多大なご協力を賜りまし て、重ねてお礼を申し上げます。6年半ほ ど前、東京オリンピック・パラリンピッ クが決まったとき、はたして私は8年後に 元気で見ることができるだろうかと不安 なったことを思い出します。しかし、す でに2年を切り、すぐそこまで来ていま す。建築業界は、このオリンピック景気 に後押しされているところもあり、順調 に来ているのではと思っています。しか し、いろいろな問題も抱えています。オ リンピックが終わったらどうなるのか。



そして、少子高齢化です。労働者も不足 しているということで、国会でも外国人 の受け入れに関して議論されています。 一方で、我々に近い問題としては、アス ベストの問題があります。これも、各方 面で検討会が行なわれていますので、注 目していただきたいと思います。

理事会でうかがったところによると、こ の10年間でニットク・アメニティシステム 連合会の会員は5%ほど増えているという ことです。そして、ニットクの売り上げ に対する寄与率も5%ほど増えているとい うことです。このように元気の良いニッ トク・アメニティシステム連合会ですが、 もっとも元気の良い人たちが、本日は表 彰を受けられるということでございます。 誠に喜ばしく、おめでとうございます。本 日は厳正な総会、そして懇親会を楽しん でいただければと思いますので、よろし くお願いいたします」と述べられました。 続いて、穂坂会長が議長に選任され、第

1号議案から第4号議案が審議され、承認・ 可決されました。

なお、第3号議案で承認された平成30年 度の事業計画は以下のとおりです。

- ①日本特殊塗料のすべての塗料・工法の 採用に取り組んでいきます。
- ②今年度も引き続き、「防水材」「塗り床 材」「遮熱塗料シリーズ」「NTサーモ バランスNEO1」「シルビアセラティ -N」の採用拡大に取り組みます。
- ③各地区ニットク・アメニティシステム

会と日本特殊塗料の連携を密にして、 効果的な運用により、顧客のニーズに より一層応えていきます。

- ④ニットク・アメニティシステム連合会 ホームページの充実化をはかります。
- ⑤広告・宣伝活動および官庁、設計事務 所などへのPR活動を推進します。
- ⑥ニットク・アメニティシステム連合会 理事会を年3回開催し、効率的な会の運 営をはかります。
- ⑦『ニットク・アメニティシステム連合 会ニュース」を発行します。
- 8 各地区ニットク・アメニティシステム 会の技術委員会、広報委員会、支部会 会議の強化をはかります。

議案の審議終了後には、総会に先立っ て開催された合同技術委員会および合同 広報委員会の審議事項が報告されました。

■合同技術委員会

- ①新規塗り床材の試験施工を開始した旨
- ②不具合事例集の作成状況について報告 ③「シルビアセラティーN」関連製品開 発について報告



▲合同技術委員会

■合同広報委員会

- ①動画の活用について
- ②カタログの充実について
- ③会員限定工法の充実について
- ④「シルビアセラティーN」の販促活動 について







その後、本年度の優秀会員の表彰が行 なわれました。表彰を受けられたのは以

■ニットク・アメニティシステム連合会 会長賞(7社)

下の方々です。

(株)昌栄 東京支店 (関東·甲信越) ※18年連続

(株)オキナワ技研 (九州) ※18年連続 古賀工業(株) (近畿・北陸) ※6年連続 (株)安河内工業 (九州) ※6年連続 (株)ハスナ (関東・甲信越) ※3年連続 (株)タケヤ (東海) ※3年連続



▲会長賞

■日本特殊塗料(株)社長特別賞(1社)

(有)有村防水 (九州) ※10年連続



■日本特殊塗料(株)社長賞(22社)

(株)昌栄 東京支店(関東·甲信越) ※18年連続

(株)オキナワ技研 (九州) ※18年連続 アサヒカラコン(株) (近畿・北陸) ※16年連続



九州防水㈱(九州)※14年連続 (株)ミカド (九州) ※14年連続 (有)マエダ化研 (近畿・北陸) ※13年連続 新生建工㈱(東海)※11年連続 有)有村防水 (九州) ※10年連続 (株)スギモト (九州) ※8年連続 古賀工業㈱ (近畿・北陸) ※6年連続 (株)安河内工業 (九州) ※6年連続 (株)ナカムラ (関東・甲信越) ※5年連続 小田建塗工業㈱ (東海) ※5年連続 ㈱星塗装工業 (北海道) ※4年連続 (株)ハスナ (関東・甲信越) ※3年連続 (株)タケヤ (東海) ※3年連続 (株)駿河コーポレーション (九州) ※3年連続 (株)マイスター技研 (東海) ※2年連続 ㈱芝原美装工業 (九州) ※2年連続 真和建装㈱(東海) (株)愛知レジン(東海) (株)オフィス・エスビーケー (九州)

■叙勲・褒章・大臣表彰(2社)

(株)長崎塗装店(中国)旭日双光章 (株)ダイニチ (九州) 黄綬褒章



次ページに続きます。▶▶▶



表彰に続いて、メーカーを代表し弊社 の酒井社長から、「本日はお忙しいとこ ろ、また遠路、総会にご出席賜りまして 本当にありがとうございます。また、会 員の皆様には、いつも日本特殊塗料、そ してニットク製品をご愛顧いただきまし て本当にありがとうございます。

いつもお話しさせていただいています が、ニットク・アメニティシステム連合 会は『製・販・装』一体の全国組織であり、 ニットクの塗料事業の根幹を成すもので ございます。ニットク・アメニティシス テム連合会が、これだけ長く継続して発 展することができているのも、会員の皆 様のご支援とご協力の賜物と深く感謝し ています。

今後も、ニットクの製品とサービスで 皆様に喜んでいただけますように、そし て会員の皆様とうまく連携して仕事がで きますように、ニットク全員で一生懸命 頑張って参りますのでよろしくお願いい たします。

さて、少し先の話です。6月1日、ニッ トクは90周年を迎えます。ここでニット クの歴史を振り返りますと、ニットクは 1929年に設立しまして、戦後の厳しい時 代を乗り越えて、スレコートとアンダー シールという大ヒット商品により、設立 から32年後の1961年に東証2部に上場 しました。その後、ユータックやプルー フロン、ニットク・アメニティシステム

連合会設立のきっかけとなりました、ハ イプルーフなどのヒット製品が開発され、 そして、自動車用防音材も軌道に乗りま して、2部上場から再び30年後の1991年 に東証1部に昇格しました。そして、そこ から、遮熱塗料のパイオニア、パラサー モの開発や塗り床材や防水材の拡販、ま た、自動車用防音材のグローバル化の推 進により、再び30年目の節目の年を迎え ようとしています。



▲酒井社長の挨拶

つまり、ニットクの歴史を振り返りま すと、ほぼ30年周期で成長の節目を迎え ることができています。これまでのニッ トク・アメニティシステム連合会会員の 皆様のご支援、ご協力に、改めまして深 く感謝いたします。また、これからの30 年も皆様とご一緒に成長できますように、 皆様からのご意見を賜りながら、皆様に 喜んでいただけるヒット商品の開発に一 生懸命取り組んでいきたいと考えていま

ここで、ニットクの現況につきまして

簡単に報告させていただきます。先週、中 間決算を発表しましたが、非常に厳しい 結果となり、通期の業績予想を下方修正 させていただきました。予測以上に原材 料費が高騰し、固定費負担も膨らみまし て、さらに海外事業の損益が下振れして、 売上はほぼ計画通りでしたが、経常利益 で2割、最終純利益で3割ほど計画より落 ち込みました。通期でもこの傾向が変わ らないと判断して下方修正を出しました。 よって、これから1、2年でしっかりと原 価改善を進めて、何とか東京オリンピッ クの2020年までには軌道修正をかけて いきたいと考えています。

続いて塗料事業の話になりますが、こ の2年ほど全国的に販売が厳しく、なかな か前年実績をクリアするのも厳しい状況 が続いています。景気がいいのか悪いの かわからないような状況が続いています が、何とか新しい需要を開拓して数字に 結び付けていきたいと思います。お願い 事ばかりになりますが、今期も残り5カ 月弱ございます、引き続き皆様のご支援 と、ご協力を賜りますようによろしくお 願い申し上げます。

最後になりますが、皆様のますますの ご繁栄と、ご健勝を祈念し、私の挨拶と させていただきます」との挨拶がありま した。最後は野村理事の閉会の辞で今回



▲野村理事による閉会の辞

の通常総会を終了しました。

本年度も「ニットク・アメニティシス テム連合会」の一層の発展と飛躍が大き く期待されます。

■自動車製品事業本部

「UGN・メキシコ新工場」が稼動開始

近年、北米・中南米への自動車供給基 地として期待されているメキシコには、 2013年12月にUGNの子会社として、工場 を建設しました。今般、新たに進出する トヨタをはじめとする日系自動車メーカ -の生産増強に対応するため、既存の工 場を移転し、新たに一つの工場として、メ キシコ・グアナファト州に新工場を建設 しました。

新工場は、メキシコシティ市の北西350

km、グアナファト州シラオに 位置し、シラオ空港からは車 で10分という便利な立地に あります。敷地面積は77,569 m*、工場が26.257m*と将来の 拡張も展望した敷地を確保 しています。

グアナファト州は、日本企 業の投資誘致を積極的に展開しており、



日系による投資総額は国別投資額として

▲UGN・メキシコ新工場外観

は1位です。また、グアナファトは世界文 化遺産に登録されており、歴史的な街並 みで観光客の人気も高いところです。

メキシコは米国への輸出拠点として、 年間400万台の自動車を生産しています。 UGNメキシコ工場を通して、自動車メー カーの増産に対し、最適製品を供給し、要 望に適確に応えるとともに、同国の経済 発展に貢献したいと考えています。

自動車製品事業本部

▲UGN・メキシコ新工場のスタッフ

「SNC(タイ)新オフィス」を竣工

9月3日、仕入れ先、行政、株主など、関 係者の皆様をお招きし、SNC SOUND PROOF社の新オフィス完成披露竣工式 を執り行ないました。

SNCは1994年にメルシートとフェルトの えます。四半世紀の間に、取り巻く社会環

生産工場としてタイ・Summitグループの Summit Auto Seat社、株中外、日本特殊塗 料㈱、3社の合弁会社として操業を開始し ました。今年の6月には、25周年の節目を迎

境は激しく変化して参りましたが、記念す べき25周年を目前に、新オフィスを竣工で きましたことは、皆様のご協力があっての こととたいへんうれしく、感謝しています。 心機一転、これまで以上に飛躍ができ るよう、従業員一同努力して参りますの で、引き続き、変わらぬご支援、ご指導 をお願い申し上げます。



▲新オフィス外観





▲3階大会議室



▲カフェテリア

T O P I C S

■塗料事業本部

「ニシイ2018未来創造展」に出展

10月10日、11日の2日間、福岡国際センターにて開催された「ニシイ2018未来 創造展」に出展しました。

「ニシイペイントショー」から名称を変更し、職場と暮らしを変える4つの提案として、「人手不足対策」、「環境対策」、「暮らしと健康」、「防災・安全対策」にかかわる160社が出展。来場者数は2日間で2,345人となりました。

弊社は、「暮らしと健康」のエリアに ブースを構え、ハイクッション工法、シ ルビアセラティーNを展示しました。ハ イクッション工法は幼稚園・高齢者施設 向けの転倒事故対策の工法で、実際に靴 を脱いで歩いてもらい、クッション性を 体験していただきました。シルビアセラ ティーNは屋外暴露試験をした見本板を 展示し、低汚染性を目で見て確認してい



▲云場

ただきました。また、「防災・安全対策」 として、貼る塗料、蓄光塗料の展示にも たいへん興味を持っていただきました。





▲ハイクッション工法の紹介



▲ニットクブース

■塗料事業本部

「湘南ひらつかテクノフェア2018」に出展

10月18日から20日の3日間、ひらつかサン・ライフアリーナにて第14回目となる、「湘南ひらつかテクノフェア」が開

催されました。湘南地区を中心に100余り の企業・団体が出展し、業界の枠を超え た情報交流および、最新技術の体感がで



今回のニットクブースでは、ニットクの代名詞である遮熱とニットクならではの防音を中心に展示いたしました。実際に温度の違いを体感できる遮熱塗料の評価もさることながら、一般家庭でも利用しやすい「防音くん」は多くの方から高

い評価をいただきました。

きることで毎年反響の高いイベントです。

この「湘南ひらつかテクノフェア」では、弊社を含め日常では触れることが少ない製品や技術を間近に感じることができます。ぜひご来場ください。

■塗料事業本部

「関西ファベックス2018」に出展

10月23日から25日の3日間にインテックス大阪で開催された、国内随一の業務用食品、食材、機器、容器の総合見本市である、「ファベックス関西2018」「関西デザート・スイーツ&ベーカリー展」に出展しました。当展示会は食に関する一大イベントで、来場者数も38,915名と過去最高となり大盛況でした。

弊社は、「デザート・スイーツ&ベーカリー展」にブースを構え、「ユータックコンプリートシリーズ」を中心とした塗り床材と防音材を展示しました。ニットクブースへは、食品工場床、厨房床で床材の剥離、汚れ、衛生面で困っている方が来られ、対策や改修方法の相談もたくさんいただきました。



▲ニットクブース

次年度の開催 (2019年10月16日から18日) も既に決定していますので、継続して参加したいと思います。

■塗料事業本部

「第1回高機能塗料展(コーティングジャパン)」に出展

12月5日から7日の3日間、千葉・幕張メッセで開催された「第1回高機能塗料展」に出展しました。「高機能素材Week 2018」として、8つの展示会が同時開催されていたこともあり、来場者数は3日間で、59,000名と大盛況でした。

ニットクブースでは、「マジックを超える、ニットクの商品シリーズ」と題し、 2人のプロマジシャンにお手伝いいただいて、マジックを交えての商品紹介を行 ないました。色が変わるマジックに続き、紫外線が当たっても外壁の色を変化させない塗料「シルビアUVカットシリコンクリヤー」について、高いUVカット性能を目に見える形で紹介しました。これらの効果もあり、たいへんたくさんの方々に商品をご紹介することができました。

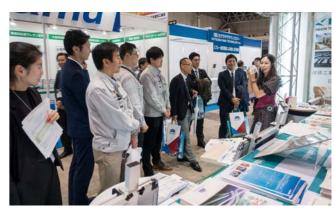
防音材に関する質問も多くいただきま したが、今回の印象としては、お客様の 要望がとても多種多様だったことがあげ



▲会場

られます。今後も皆様の声に応えられる よう努力して参ります。









ース。とくに、ブース内で 行なわれたマジックを交え ての商品紹介の際は、多く の人が立ち止まり、見入っ ていた。

■業務本部

「個人投資家向けIRセミナーを開催」

9月13日、名古屋市中区で開催された三 菱UFJモルガン・スタンレー証券主催 「名 古屋投資セミナー」において、個人投資 家向けのIRセミナー(説明会)を開催い たしました。

当日は、弊社を含む上場企業3社の合同 セミナーに、近隣にお住まいの個人投資 家約140名が来場され、会場は満席。大変 盛況なセミナーとなりました。約40分間 の持ち時間でしたが、事業 (塗料、自動車 製品) の内容や直近決算、中期経営計画 の概要等について、代表取締役専務の田 谷より説明を行ないました。

事業内容や今後の成長戦略等について、



▲満席となったセミナー会場

キしか思いつかなかったが、それだけで はないとよくわかりました」「自動車の 吸遮音材にこれほどの製品が使用されて いると知り驚きました」といった声をい ただき、ニットクグループをアピールす るたいへんよい機会となりました。 今後も継続して開催し、個人投資家の

熱心なご質問・ご意見をいただき、終了

後のアンケートでは「塗料といえばペン

皆様とのコミュニケーション充実に努め て参ります。



業務本部

地域交流企画「夏休み自由研究教室」を開催

8月25日、地域交流企画として、「夏休 み自由研究教室 | と題し、小学生の夏休 みの自由研究をサポートする講座を本 社・カフェテリアで開催しました。

自由研究教室のテーマは「カゲに色を 付けよう」です。ライトとカラーセロフ ァンを使って影に色を付ける実験をしま した。「なぜ?」を感じてもらうために、 光の3原色などの解説の前に、影に色が付 く体験を楽しんでもらえるように心掛け ました。

初めての試みだったため、テーマはおろ か、募集の段階から手探りの運営でした が、小学生18名、保護者や小学生以下の 子どもたちも合わせると、38名のご参加 をいただきました。おかげさまでたいへ んにぎやかなイベントとなりました。

今回は、小学生を対象とした企画でし たが、地域交流企画の目的はニットクを 知ってもらうことです。今後は、CSR、 BCP、地域防災のほか、事業内容や製品 にもう少し密接なテーマも検討できれば と考えています。



色彩の原理を、親子とも ども楽しく学んでいた。

▲会場となった本社カフェテリア



■南澄川パークマンション外壁塗装他工事(北海道)

建築用壁面塗膜防水材「ハイブルーフ下塗」+「ハイブルーフ上塗N」/2,338㎡ 建築用塗膜防水材「ブルーフロンプライマー」+「ブルーフロンバリュー」

+「プルーフロンGRトップ」/877㎡

施工/㈱星塗装工業



■平成30年度クリーンリバー宮ヶ丘パークウェイ大規模修繕工事(北海道) 建築外壁用塗料「シルビアサーフ」+建築用壁面塗膜防水材上塗材「ハイプルーフ上塗

建築用塗膜防水材「プルーフロンプライマー」+「プルーフロンバリュー」

+「プルーフロンGRトップ」/756㎡ 設計/建物ドック協同組合 施工/㈱星塗装工業



■琴似ドムール外壁塗装改修工事(北海道) 内外壁用塗料「シルビアサーフ」+建築用壁面塗膜防水材上塗材 「ハイプルーフ上塗N」/2,163㎡ 施工/㈱星塗装工業



■ナカビシグランドハイツ宮の丘大規模修繕工事(北海道) 内外壁用塗料「シルビアサーフ」+「ハイブルーフ上塗N」/1,402㎡ 建築用塗膜防水材「ブルーフロン塗り替え用ブライマー」+「ブルーフ ロンバリュー」+「プルーフロンGRトップ」/161㎡ 施工/㈱星塗装工業



■宮城県畜産試験場(宮城) 塗り床材「ユータックコンプリート」 CPM-4N工法/200㎡ 施工/㈱ナカムラ仙台支店



■ (仮称) ヨークベニマル大和町店立て替え工事(宮城) 塗り床材「ユータックオリゴマー」/335.6㎡ 建設/前田建設工業㈱東北支店 施工/㈱ワタナベ建装



■某工場新築工事(埼玉) 塗り床材「ユータックコンプリートG」CPG-4F工法/665㎡ 施工/俐野本建装工業、㈱タナカペインティング



■県営秩父永田住宅2号棟屋根防水工事(埼玉) 超速硬化塗膜防水材 (スプレータイプ)「NTス プレータイプSJNK工法/244㎡ 超速硬化塗膜防水材 (スプレータイプ)「NTス プレータイプSJX-2SC立上り工法/55.8㎡ 施工/㈱日本アステック



■東海市立三ツ池小学校本館外壁改修工事(愛知) 建築用壁面塗膜防水材上塗材「ハイプルーフ」 玉吹き小模様/4,339㎡ 建設/菅原工業㈱東海支店 施工/㈱飯味塗装工業所



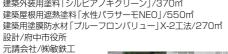
塗り床材「ユータックS」コーティング工法/4,700㎡ 塗り床材「ユータックテクノONE」コーティング防滑工法/2,530㎡ 塗り床材「ユータックテクノ遮熱ONE」コーティング防滑工法/610㎡ 施工/㈱奈良商店



■㈱丸一伊奈工場塗床改修工事(埼玉) 塗り床材「ユータックE-30N」ハード流し展べ工法/220㎡ 施丁/㈱新井組



■市営第九新町住宅外壁および屋上防水等維持補修工事(東京) 建築外装用塗料「シルビアサーフ」+「シルビアWU-200」/2,800㎡ 建築外装用塗料「シルビアノキクリーン」/370㎡





■武蔵野市立境南小学校給食室内塗装改修工事(東京) 塗り床材「ユータックコンプリート」CPS-3F工法/130㎡ 塗り床材「ユータックコンプリート」CPL-6N工法/16㎡ 施工/昭研工業(株)



■某酒造会社(愛知) 建築外装用塗料「ユータックコンプリートG」/60㎡ 建設/㈱大幸 施工/平松建工株



■綾部中学校給食調理室建設工事(京都) 塗り床材「ユータックコンプリート」CPS-3N工法/200㎡ 建設/㈱渋谷組 施工/㈱畿北スキル、侑マエダ化研



■某金属加工メーカー新築工事(滋賀) 塗り床材「ユータックE-30N」 樹脂モルタル流し展べ工法 /600㎡ 施工/㈱愛知レジン



■エクセル上溝(神奈川) 塗り床材「ユータックE-30Nローラー用」 コーティング防滑工法トップコートユータック S仕上げ/600㎡



建築用塗膜防水材「プルーフロンバリュー」X-2工法/ 300m² 設計/ウォータータイト工業(株) 施工/㈱グラニット



▲施工前

■自動車関連製品製造工場新築工事(滋賀) 塗り床材「ユータックスーパーFハードN」ハード流し展べ工法/1,220㎡ 塗り床材「ユータックR」コーティング工法/160㎡ 塗り床材「ユータックTMプロテクト」/1,220㎡ 設計・建設/㈱ピーエス三菱



■天理駅前コフフン新築工事(奈良) 塗り床材「ユータックテクノ」コーティング工法/1,200㎡ (写真真ん中の古墳調のモニュメントに施工) 施工/大正技建(株)



■ジヤトコ㈱A地区本館外壁(静岡) 建築外装用塗料「シルビアセラティーN」/4,000㎡ 建設/㈱フジタ名古屋支店 施工/㈱渡辺塗装工業



■赤穂カントリーエレベーターサイロ防水工事(長野) 建築用壁面塗膜防水材上塗材「ハイブルーフ」吹付工法+「ハイブルーフ上塗WS」仕上げ/2,900㎡ 建設・施工/㈱五十鈴



■ファミリープラザ朝潮橋プール改修工事(大阪) プール用塗料「プールエース」/230㎡ 施工/㈱エーシン



■松原市民プール改修工事(大阪) プール用塗料「プールエース」 RC工法/2,000㎡ 建設/松村建設㈱ 施工/㈱西日本レイホー



■成相寺青嵐荘厨房床改修工事(大阪) 塗り床材「ユータックコンプリート CPM-3N/80m⁸ 施工/街マエダ化研





■ダイハツ兵庫淡路店改修工事(兵庫) 塗り床材「ユータックスーパーFハードN」+「ユー タックRJ/450㎡ 施工/古賀工業㈱



床改修工事(兵庫) 塗り床材「ユータックE-30N」/86㎡ 施工/アサヒカラコン(株)



■住吉山手コモンズ大規模修繕工事(兵庫) 建築外装用塗料「シルビアサーフ」+「シルビアWS-300」/1,200㎡ 「シルビアノキクリーン」「シルビアNADウレタンN」 施工/ニットクメンテ(株)大阪支店



■自動車検査場福井事務所2コース(福井) 塗り床材「ユータックE-30N」流し展べ防滑工法/240㎡ ニジの床材 [ユータックR] /ライン 建設/村中建設㈱ 施丁/街マエダ化研



■某小学校屋内運動場屋根塗装改修工事(岡山) 建築屋根用塗料「リリーフNADシリコン」/921.4㎡ 施工/㈱ナルミ



■某小学校屋内運動場屋根塗装改修工事(岡山) 鋼板屋根用厚膜カラー塗料「マッキンレーN」/953㎡ 建設/片岡工業㈱総社営業所 施工/㈱サンミ



■㈱デンソー勝山第4工場増築工事(岡山) 塗り床材「ユータックE-30N」流し展べ工法/882.2㎡ 塗り床材「ユータッククリーンE厚膜」SD-1工法/95.0㎡

施工/山樹エンジニアリング(株)

建設/三和建設㈱

塗り床材「NTクリスタルハードナー」/118.0㎡





建築屋根用遮熱塗料「パラサーモシリコン」/1,200㎡ 施工/㈱東條塗装工業



■某床物件(徳島) 塗り床材「ユータックE-30N」ハード流し展べ工法 (2mm)/220m²



■冷泉町ビル新築工事(福岡) 塗り床材「水性ユータックFT」/5,115㎡ 設計/NTT都市開発ビルサービス㈱ 建設/飛島・上村建設共同企業体 施工/㈱山田工業



■カーディーラー屋上駐車場新築工事(福岡) FRP防水材「タフシール」駐車場防水工法/500㎡ 施工/衛ヒロショウ技建



(福岡) 中空バルーン配合建築屋根用遮熱塗料 「パラサーモシールド」/2,765.4㎡ 建設/㈱松浦組 施工/(株)機野



■福岡市某立体駐車場床改修工事(福岡) 塗り床材「ユータックスーパーFハードN」ハード 流し展べ防滑工法/1,000㎡ 施工/衛ヒロショウ技建



■大分市立滝尾中学校武道場屋根塗装改修工事(大分) 建築屋根用塗料「エポラオールプライマー」 +「リリーフNADフッ素」ココナッツ/568㎡ 施工/西日本技建㈱



■大分市南部ビル外壁塗装改修工事(大分) 建築外装用塗料「シルビアセラティーN」/900㎡ 施工/㈱有永塗装



建築屋根用塗料「ニューリリーフトップ」/2,000㎡ 建築外装用塗料「シルビアNADシリコン」/2,000㎡



施工/岡総合塗装



■友愛モータース駐車場防水工事(佐賀) FRP防水材「タフシール」駐車場防水 TW-C工法/200㎡ 施丁/㈱丸用塗装



■ヤマハ天草製造㈱第2工場屋根塗装工事(熊本) 鋼板屋根用防食塗料「ビチューロンシルバー」/14,200㎡ 建設・施工/㈱ニシイ



塗り床材「ユータックE-30N」 ハー ド流し展べ工法/200㎡ 施工/古賀工業(株)



■霧島酒造(宮崎) 塗り床材「ユータックコンプリ - トG」防滑工法/250㎡ 施工/古賀工業㈱



■徳留様邸塗り替え工事(鹿児島) 建築外装用塗料「シルビアセラティーN」 ウールローラー工法/125㎡ 建設・施工/㈱市坪建装



■花尾小学校校舎1号棟屋上防水工事、 外壁補修ほか(鹿児島) 建築用塗膜防水材「プルーフロンバリュ —」X-1工法(機械固定)/790㎡ 建築用塗膜防水材「プルーフロンバリュ —」X-2工法/83.6㎡ 建築用塗膜防水材「プルーフロンバリュ —JX-2立上り用/109㎡

建設・施工/㈱ジュシカ



田本特殊塗料株式会社





表紙イラスト/駒田寿郎

⊕ 日本特殊塗料株式会社

本 社	〒114-8584	東京都北区王子3-23-2	☎ (03)3913-6131	●FAX(03)3913-6183
開発本部・ 開発センター	〒114-0003	東京都北区豊島8-16-15	☎ (03)5390-0661~6	●FAX(03)3914-1085
塗料事業本部				
東京営業所	〒114-8584	東京都北区王子3-23-2	☎(03)3913-6203	●FAX (03) 3913-6323
神奈川営業所	〒254-8503	神奈川県平塚市長瀞1-10	☎ (0463) 23-2135	●FAX (0463) 23-3739
中部営業所	∓472-0006	愛知県知立市山町東並木北12	☎ (0566)81-8111	●FAX (0566) 81-8124
大阪営業所	〒565-0853	大阪府吹田市春日1-4-12	☎ (06) 6386-8492	●FAX (06) 6338-3560
中四国営業所	〒739-0025	広島県東広島市西条中央4-3-13	☎ (082) 423-8231	●FAX (082) 423-8256
九州営業所	〒849-0112	佐賀県三養基郡みやき町江口4726	☎ (0942) 89-5766	●FAX (0942) 89-5762
DIY販 売 部	〒123-0865	東京都足立区新田2-11-4	☎(03)3919-6001	●FAX (03) 3919-6681
平 塚 工 場	₹254-8503	神奈川県平塚市長瀞1-10	☎ (0463) 23-2131	●FAX (0463) 22-6423
静岡工場	∓437-1612	静岡県御前崎市池新田4455	☎ (0537) 86-2491	●FAX (0537) 86-7835
愛 知 工 場	₹472-0006	愛知県知立市山町東並木北12	☎(0566)81-2771	●FAX (0566) 82-4600
広島工場	〒739-0025	広島県東広島市西条中央4-3-13	☎ (082) 423-3171	●FAX (082) 423-3173
九州工場	〒849-0112	佐賀県三養基郡みやき町江口4726	☎ (0942) 89-5661	●FAX (0942) 89-5411
自動車製品事業	本部			
営業統括部	〒114-0003	東京都北区豊島8-16-15	☎ (03) 5390-0663	●FAX (03) 3914-1085
東日本第1営業所	₹254-8503	神奈川県平塚市長瀞1-10	☎ (0463) 23-2132	●FAX (0463) 23-3739
東日本第2営業所	〒374-0024	群馬県館林市本町2-5-47 TM21プラザ2階204号	☎ (0276) 75-1571	●FAX (0276) 75-1578
中日本営業所	₹472-0006	愛知県知立市山町東並木北12	☎(0566)81-8112	●FAX (0566) 82-4600
西日本第1営業所	〒739-0025	広島県東広島市西条中央4-3-13	☎ (082) 423-3171	●FAX (082) 423-3173
西日本第2営業所	〒824-0022	福岡県行橋市稲童484-3	☎ (0930) 25-5091	●FAX (0930) 25-6200
平塚工場	₹254-8503	神奈川県平塚市長瀞1-10	☎ (0463) 23-2131	●FAX (0463) 23-3739
静岡工場	〒437-1612	静岡県御前崎市池新田4455	☎ (0537) 86-2491	●FAX (0537) 86-7835
丑 知 丁 坦	₹472-0006	愛知県知立市山町東並木北12	☎(0566)81-2771	●FAX (0566) 82-4600
愛知工場				
愛 知 工 場 広 島 工 場	〒739-0025	広島県東広島市西条中央4-3-13	☎ (082) 423-3171	●FAX (082) 423-3173